

■ 杉の家 (すぎのうち) PLAN・仕様

本棚でもあり、手すりでもあります。

屋根は切り妻。耐候性のガルバリウム鋼板。

空間だけ確保しています。

照明は配線ダクト(レール)を使い、自由な位置に照明を設置することができます。

外壁・屋根は通気工法。

窓はすべてペアガラス。

2階

手すりには落下防止を考え、ネットを取り付けることができます。

2階はすべて天井をつくらずに、屋根の野地板と垂木(たるき)をあらわしにしています。

手摺を取り除き、吹抜に床をつくり、洋室2を2部屋に分けることを考えてつくっています。

後でのバルコニー設置を考えています。

ハーフユニットバスで壁、天井を現場で製作。間ロー杯巾のサッシを取り付けました。

IKEAの洗面器を利用。

壁と天井をしっくい仕上。北側なのに明るい気持ちの良い空間になりました。

大工さんがつくったオープンなキッチン。既製の引き出し付きワゴン等を置くことができます。

低くおさえた10センチのアルミの上がり框。

ベタ基礎なので床下の湿気を抑えています。

(歩道) 道路

天井をつくらずに、2階の床下地と梁をあらわしとしています。

南側の外壁は焼き杉。

吹抜の真ん中に大きなテーブルを置きます。

1階

壁はしっくい。真っ白ではなく少し色を加えています。

杉30ミリ厚のフローリングは、やさしい歩き心地。施主自身が桐油(ぎりゆ)というやさしいオイルを塗りました。

建築面積57.96㎡ 延べ床面積:92.74㎡ 構造:木造2階建て

[外部] 屋根:ガルバリウム鋼板 外壁:リシン吹き付け、焼き杉貼り [内部] 天井:針葉樹構造用合板 壁:しっくい 床:杉(t=30)

■ 杉の家 (すぎのうち)の提案

□ 奇をてらわずシンプルな木の家づくりです。～

柱・梁・階段は、宮崎の杉。フローリングは、徳島の杉(厚み30ミリ)。壁は、しっくい。外壁(南側)は、焼き杉。

塗装は、桐油(塗りやすいオイルなので住まい手自身で行えば、塗装工事を除くことも可) 仕様はもちろん変更できます。

□ 住まい手の生活を考えながら建築費を抑え、ローコストな家づくりを実現していきます。～

必要なもの、必要でないもの、自分でつくれるもの、後でつくれるものをしぼっていきます。

シンプルな間取りとしフレキシブルな空間にします。